

中国の伝統、刺繍を学ぼう！

蘇州市と京都市

シンリー

目標

本提案によって、両市が友好交流国際姉妹都市という関係を結び、お互いの伝統工芸“刺繍”が更に発展していくことを目指します。

企画概要

蘇州市と京都市が友好的な交流関係が結べるよう修学旅行コースを提案いたします。

双方の学生たちに異国の文化、伝統、工芸などを理解してもらう学習交換プロジェクトです。

刺繍の授業は特別授業として設定し、この修学旅行コースの中心的な活動とします。

終わりに

本提案をもとに学生たちが交流活動に参加し、両国の文化交流が生まれることは私の最も望むところです。また、活動を通して人々の伝統文化への認識が深まってほしいと思っています。今回の提案は、学生のみならず、社会人にも影響を与えるものでしょう。将来的には、刺繍のみならず、他の伝統工芸も取り上げていきたいと思っています。我々は、長い歴史の中で先人の知恵に育まれてきました。先人の精神と技術は継承すべきものです。活動を通して多くの人が物を大事にする気持ちを持ってくれたら、それは何より嬉しいことです。

伝統価値を保護しよう

ベトナムのニャチャン市と日本の沖縄市

ファンリン

ねらい（目的）

ニャチャンのビーチは有名で毎年世界中からの観光客が訪れている。現在、経済が発展しており、失業率も減少しているが、まだ日本でもニャチャンの知名度はあまり高いとは言えないと思う。今回の国際交流を通じてニャチャンの伝統、文化、そして長い歴史がある所であることを知ってもらいたいと思う。ニャチャンは海があるだけではなく、現代と古代の美を両方持っている町ということ伝えてたい。

また、経済の発展でニャチャンの伝統的なものの価値がなくなる恐れがあるので保護したいと考える。日本人に文化を保護する方法、伝統を長く守り続ける方法を教えてもらいたい。

企画内容

昔のニャチャンはチャンパという国の一部だった。1832年チャンパの全ての領土はベトナムになった。一方、沖縄は日本の一部になる前に琉球王国という国だった。1879年沖縄は正式に日本の県になった。以上の歴史的背景が共通していることから沖縄とニャチャンの伝統国際交流イベントを行いたいと思う。国際交流イベントはニャチャン大学で行い、ニャチャン大学の学生と日本からの大学生が双方の歴史、文化、伝統などをともに学び合う機会にしたい。活動としては、伝統的な舞踊を教え合ったり、その地方独特の食べ物をお互い体験したりすることなどを考えている。日本全国のすべての地方には舞踊があり、きちんと保護されているので男女関係なく、お年寄りでも、若者でもできる。逆に、ベトナムの場合は伝統舞踊を知っている人が少ない。日本人から伝統舞踊を継承する方法を学び、ニャチャンの伝統舞踊を守っていくことができたらと思う。

おわりに

ニャチャンは綺麗な景色がある町として知られているが、それのみならず、長い歴史もあり、伝統舞踊もあることを多くの人知れば、ニャチャンのイメージはさらに上がる。ニャチャンと沖縄の歴史の共通点を知る人は多くないと思われるので、国際交流を通じてそのことを知る人が増えてほしい。沖縄とニャチャンの友好関係が生まれるようこの企画を考えた。

大学の受講体験と地方文化体験

台湾新北市と神奈川県横浜市

コウ

ねらい

社会のグローバル化につれて、国家だけではなく市と市の交流も重要になります。新北市と横浜市との共通点は両市とも首都に次ぐ第2の大都市であることです。加えて、両市の経済活動は国の発展には重要な役割を務めています。ですから、新北市と横浜市が姉妹都市になり、文化交流、大学の交流を行うことで、将来両市の第三次産業の発展に繋がりたいと考えています。

企画概要

新北市国立台北大学、私立淡江大学、国立台湾芸術大学などの大学は今まで学生の国際交流に力を尽くしています。新たな横浜市との姉妹交流を通じて、大学の学生間の交流が更に広がるものと思います。新北市の大学への交流は2月元宵節ごろに、横浜市の大学への交流は6月横浜開港祭ごろに、行いたいと考えています。平日は双方の大学の講義を受講します。国際交流を重視する大学は毎学期外国人学生のための英語での授業があります。授業中に、教授から与えられたテーマについて参加した学生と本校の学生と一緒に話し合ったり、発表したりします。話し合いを行う中で、異なる文化と異なる考え方を共有できると思います。鶯歌は言わずと知れた陶器産業の地です。陶芸の学習、創作および交流の場を設けます。陶芸教育の設備がある所で各種のプログラムや、各技法の実演、研修を体験してもらいます。

終わりに

双方の市民の皆様が豊かな国際感覚を身につけ、互いに理解を深めて、海外との交流事業に参加する機会を創出することを願うとともに、新北市と横浜市の友好の絆が深まることに期待しています。

伝統的な生活の体験交流

アユタヤ市と京都市

ノース

ねらい（目的）

タイのアユタヤ市は歴史の街と言われていますが、世界中の人々はまだ知らないかもしれません。アユタヤ市では伝統的な文化や歴史を守っている街です。ですから、日本の京都と同じこの共通点をタイ国の代表として紹介したいと思っています。留学生にとって、外国人と交流することは難しいです。学校で勉強することや交流会など、双方社会への適応するための言葉の交流だけでは足りないと思います。異文化という生活や文化や歴史などの交流を考える必要があります。

そのためにホームステイは有効だと考えました。タイ人の家庭に入れば、タイ人の日常生活を体験することができます。また、村でホームステイを行うことで村における仕事をホームステイ参加者が手伝うことができます。村でのホームステイにより日本人とタイ人の交流と地域活性化を図るビジネスが展開できます。

企画内容

1. ホームステイ期間：2週間
2. タイ人と日常な生活を体験します。
3. タイと日本の文化を交流します。
4. アユタヤ市の伝統的な観光地を楽しみながら、歴史を学びます。
5. タイ人から日常使っている簡単な言葉を習います。（挨拶、買い物）
6. 伝統的な活動を体験します。（手作り、伝統衣装、スポーツ（ムエタイ）、踊り、料理、名物）

おわりに

タイ人にとってアユタヤ市はとても有名な歴史の街なので、タイの代表として世界中の人々に知ってもらいたいと思います。さらに、タイ国の伝統的な文化財が失われないように願って、この提案を考えました。

日中朝鮮族文化の盛んな町の文化交流事業

中国の吉林省延吉市と神奈川県川崎市

ゼン

ねらい（目的）

延吉市は中国でも朝鮮族文化が盛んで、そういった点で特色がある町である。また、現時点で、日本で延吉市と姉妹都市を結ぶ町もないので、提携が可能と考えられる。川崎市は在日朝鮮人が多い町であり、両市は文化的に類似点が多く見られ、朝鮮族文化を巡っての活動を行う可能性も高い。一連の活動を通し、延吉市の独特な朝鮮族文化を紹介し、両市の相互理解と友好交流に貢献したい。非常に意義のある提携だと思っている。

企画概要

交流は主に三つの面（文化面、教育面と経済面）がある。

1. 文化面の交流

- 1.1 食文化:延吉の朝鮮族の食べ物を体験する。
- 1.2 民族舞踊・民族衣装の体験
- 1.3 朝鮮族特有の風俗習慣の体験
- 1.4 観光地への旅
- 1.5 現地の博物館へ行って、歴史のある朝鮮族文化を学ぶ

2. 経済面の交流

延吉市は独特の朝鮮族文化が盛んであるが、日本人観光客が多いとは言えない。中国に行ったことがある日本人でも、中国の新しい観光地で今までにない体験ができるという点で旅行観光業の提携の可能性が期待できると考える。

おわりに

日中関係の厳しい現状において、新たな事業を立ち上げることは日中両国の関係改善につながるものと思われる。文化面の提携によって相互理解が促進され、相手国への嫌悪感を緩和することができる。この面から見れば、意義がある提案だと思う。草の根レベルの交流活動において、おもしろい文化面の提携は最善の策だ。この提案を、日中友好の新たな「船」にしたいと考えている。

鉄道交流

香港と日本

カホン

目的

観光業が盛んな香港だが、交通システムにおいては多くの問題がある。例えば、信号点検のミスによる地下鉄の事故などだ。日本の電車事故の場合は人為的なものであったりするが、香港の場合は人為的なものではなく、技術の問題による事故である。日本は鉄道技術が発達している。日本の技術を導入することで、香港の事故が回避できると考える。

企画概要

1. 香港と日本の鉄道関係者が交流し、現状に即した技術提携の方向性を探る。
2. 香港には鉄道学校はないため、人材不足である。香港の今後の鉄道技術の発展のために、日本から技術者を呼び、鉄道に関する専門知識を学ぶ機会を設ける。
 - ◆ 香港と日本に鉄道会社の派遣と交流し、お互いの技術を学ぶ。
 - ◆ 香港は高い建物が沢山あるので、JRだけではなく、ゆりかもめとの交流も必要であろう。
 - ◆ 香港で各種教育機関で鉄道関連の専門科目を学ぶ、もしくは専門学校を創る。
 - ◆ 日本鉄道の会社から人材を導入して、指導者になってもらう。

おわりに

この企画は市民にとって意義のあるものである。朝一番混んでいる駅が将来的に乗客にとって通勤が楽になることには賛同を得られるはずである。また、この企画をきっかけにほかの事業も交流する可能性が出てきてほしいと思う。